

同	自昭和四年七月六日	同	間片 英彦
同	自昭和四年八月十二日	同	下村 未郎
同	自昭和四年三月二十二日	同	正幸
同	自昭和四年四月十三日	同	正幸
同	自昭和四年六月十四日	同	正幸
同	自昭和四年七月二十日	同	正幸
同	自昭和四年八月二十二日	同	正幸
同	自昭和四年九月二十二日	同	正幸
同	自昭和四年十月二十二日	同	正幸
同	自昭和四年十一月二十二日	同	正幸
同	自昭和四年十二月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年一月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年二月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年三月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年四月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年五月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年六月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年七月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年八月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年九月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年十月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年十一月二十二日	同	正幸
同	自昭和五年十二月二十二日	同	正幸

宮廷記事

○謁見 十二月十七日午前十一時本邦駐留「チラコスロワキア」國特命全權公使「カレル、ハラ」並ニ同十一時三十分「ルーマニア」國代理公使「ジョルジュ、ジェー、ストイセスコ」ハ夫人同伴就モ敬意ヲ表スルタメ 皇太后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

今般渡來ノ「ポルトガル」國軍艦「アダマストール」艦長海軍大佐「ジョアン、カルロス、ダ、シルバ、ノゲイラ」ハ副長海軍少佐「フルナンド、ファビオ、テイセイラ、デイニ

○在本邦伯國大使館附海軍武官離任 在本邦「ブラジル」國大使館附海軍武官海軍中佐「アウグスト、アルヴェス、ダラ

國領事「ディルクス」客年十二月十三日歸任シタル旨並同領事不在中同館々務ヲ處辨シ居タル特命總領事「ドクトル、ストッペ」ハ近ク賜暇歸國スヘキ旨同國大使ヨリ十二月二十二日附ヲ以テ通知アリタリ

○大阪駐在「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事任命 上山勘太郎今般「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事ニ任命セラ

省報 昭和六年 十一月十六日

○大阪駐在「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事任命 上山勘太郎今般「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事ニ任命セラ

○大阪駐在「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事任命 上山勘太郎今般「ユーゴスラヴィア」國名譽副領事ニ任命セラ

イヌ「ヲ隨ヘ曩ニ宣仁親王同妃兩殿下「リスボン」御訪問ニ對スル同國政府ノ謝意奏上ノタメ本邦駐留同國特命全權公使「ジュスチノ、デ、モンタルヴァン」同伴十二月十八日午前十時三十分 天皇陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

出張及留學

本省以外ノ官吏等ニシテ海外へ出張又ハ留學ヲ命セラレタル者左ノ如シ(括弧内ノ數字ハ發令ノ月日ヲ示ス)

陸軍省
橋本 博光(陸軍砲兵大尉) 佛國へ出張(一一、二二)
朝川 帆策(同) 佛領印度支那へ出張(一一、二六)
山本 寛(陸軍騎兵中佐) 濠洲へ出張(同)

海軍省
小林 義治(海軍艦政本部造船艦) 英國へ出張(一一、二〇)

文部省
龍山 義亮(文部省督學官) 中華民國へ出張(一一、二六)
奥田寛太郎(東京工業大學々生主事) 同上(同)

農林省
鈴木簡一郎(蠶業試驗場技師) 英領印度及伊太利へ出張(一一、一七)
田中 第二(農林技師) 歐米各國へ出張(一一、一九)

在本邦各國公館通知

○大連駐在獨國領事歸任 曩ニ賜暇歸國セル大連駐在獨逸

レ在大阪同國領事館勤務ヲ命セラレタル旨米國駐留同國公使ヨリ米國駐留帝國大使ヲ通シ十一月十五日附ヲ以テ通知アリタリ

敘任及辭令

○昭和五年十二月八日 外務省 中山 幸一
條約局第一課物品取扱主任ヲ命ス

年十二月十日 外務省 三代 辰吉
國際聯盟陸海空軍問題常設諮詢委員會ニ於ケル帝國海軍代表者職員

千七百五十圓支給 外務省警視 武波 善治
年十二月十一日 外務省警視 從五位 水澤 孝策
授瑞寶章 授瑞寶章 伊地知吉次
年十二月十二日 大使館理事官 玉木 鶴雄
年十二月十三日 特命全權大使 佐藤 尙武
許可ス 特命全權大使 松平 恒雄
年十二月十五日 特命全權大使 松平 恒雄
帝國代表委員被仰付 勳六等 望月純一郎
敘從七位 外務次官 永井 松三

臨時「ローマ」字調査會委員被仰付